



くりはら 市議会だより

第89号

令和8年1月30日

3年後、なりたい自分がそこにいる



宮城県築館高等学校



議会報告会	クマ対策など106件の声	2~3頁
視察報告(総務・産業建設・文教民生・広報)		6~7頁
「私もひとつ」	白鳥 太郎さん(一迫)・村上 恵里佳さん(瀬峰)	20頁

市民の声を受け止める

議会報告会

11月11日から13日までの3日間、市内10地区で議会報告会を開催しました。

議会報告会には96人が参加し、さまざまな意見や提言が寄せられました。議会としてその声を大切に、市政への提言や議論に反映させていきたいと考えています。

市のホームページには報告書などを公開していますが、主な内容を紹介いたします。

クマ対策



※クマの出没が多い地区で12月23日まで緊急的にスクールバスの利用拡大措置を行いました。



クマ対策として、子どもたちの通学については大崎市鳴子地区でスクールバスによる対応が取られているようだが、栗原市でも希望者が乗車できるようにしてはどうか。

文部科学省が作成した基準を根拠に、学年ごとの通学距離を利用基準として運用している。現状はクマ対策の関係もあるので、市への要望をしていきたい。



学校給食



給食費無償化維持のために県への要望など、本当に頑張ってほしい。現状の市内の学校給食の単価はいくらか。地場産品を積極的に活用してほしい。できない理由はあるのか。

県への要望は今回2回目。今後も財政支援を求める活動を継続していく。令和7年度の市内の給食は1食あたり小学校は326円、中学校は389円。地場産品の活用はできるだけ発注業者に求めているが、安定供給に課題がなくなっていない。



小学校（低学年）の給食



解体される旧畑岡小学校

閉校校舎の有効活用



閉校校舎が解体されていくのはもったいない。

合併特例債の発行期限（令和12年度）を見据えて、大規模な解体工事を優先に進めている。合併特例債を使うと、市の費用負担は実質3割で済む。解体後の土地利用も課題となっている。今後の議論の中で参考にしていきたい。





議会報告会の様子

用水路の維持管理



高齢化で用水路の維持管理が大変。防火水利確保にも使われているため支援はできないか。

現場の状況をよく調査しながら、防火水利としての位置付けを含めて検討していきたい。



議会報告会でいただいた声（内容別）

内 容	件 数
獣害（イノシシ・クマ）対策	13
議会活動	12
学校給食のあり方・給食費無償化	9
学校教育・社会教育・文化財	9
農業政策	8
まちづくり	7
防火水槽の管理・消防水利など	7
高齢者支援など	6
河川道路の管理	5
指定廃棄物などの処理	5
子育て支援・少子化対策	4
病院問題	4
部活動の地域移行	4
観光振興	3
その他	10
合 計	106

部活動の地域移行



市の方向性や見通しが十分に感じられない。目標やビジョンを明確にすべき。子どもが主体的に部活動に関わるのが重要であり、技術面に偏らない活動も大切である。文化部は地域団体と一緒に活動している事例もあることから、今の取り組みを活かした掘り起こしも必要である。

受け皿となるクラブや団体があるかが重要である。市の方向性も、地域クラブの掘り起こしが進むことで、より明確になると考える。現在は運動部を中心に検討しているが、文化部は受け皿となる団体が少ない状況である。



民生委員の負担軽減



地域に精通している民生委員は誰でもできる役職ではないが、委員も過去最高の高齢化率となっているように感じる。地区の掛け持ちなどもあり、100人程を担当している場合もあるが、負担軽減はできないか。

市に相談の上、やむを得ず欠員という地区もある。また、状況が切実であることを伝え要望し、実際に民生委員が増員された例もある。負担軽減につながるよう、議会でも努力していく。



企業誘致の現状は



合併から20年が経過し、人口が減り、活気がなくなってきた。それを打破する方策として、企業誘致が考えられる。どのようになっているのか。

市では企業誘致を推進しているが、大規模な工場用地が不足している。また、企業立地投資奨励金や立地促進奨励金などの支援制度を設けているので誘致につなげたい。

